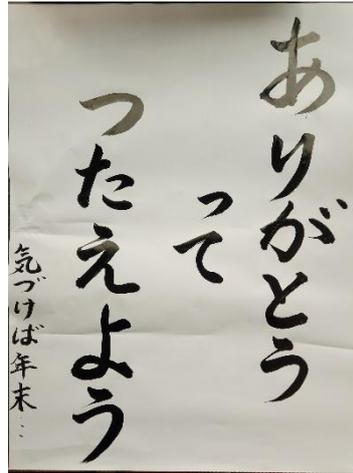


慶念寺々報

# つなぐがかり

## 慶念寺の掲示板 第四十回



「ありがとうってつたえよう」

小学生になった娘。世界がどんどん広がって、できることもどんどん増えてきています。でも、それにもなあって衝突することも増えてきたようです。先日も幼馴染の子とケンカをして所在なさげにしておりました。でも、次の日にはもう仲直り。お友達から「ごめんね」って手紙がポストに入っており、娘もきつと何かしら言葉をかけたのでしよう。仲直りをして清々しい顔をしている娘に。

「いいなあ、大人になると仲直りって難しいんだよ」と話すと、娘は「ふーん」くらいの反応でした。その時ふと「なぜ大人になると仲直りが難しいんだろう」と思いました。

「ごめんね」「すいません」「申し訳ございません」謝ることは子どもより大人



の方がずっと上手にできるはず。でも、仲直りは子どもの方が上手。その時に「ごめんね」と同じくらい「ありがとう」が大切なのだと気づきました。

私たちは、様々な関わり合いの中で生きています。きつと、子どものころよりもずっと大きく広い関わりです。そして、様々なことが見えているからこそ「ごめんね」だけでは気持ち収まらないこともある。そして、大人になると良くも悪くも「当たり前前」がどんどん増え、感動が少なくなり、ますます。それにより「これくらい当たり前前」の思いから「ありがとう」という言葉が減ってくるのだと思うのです。そして、当たり前前だと思っていると「ごめんね」という言葉にも重みがなくなってしまう。

「ありがとう」と言えないものです。ただ、素直になれないからこそ「ありがとう」「ごめんね」と言葉に重みが出るのが大人の良さなのかもしれません。年末です、身近な方と今年1年を振り返



### 仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきます。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また **日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。**

り、思い切って「ありがとう」「ごめんね」と伝えてみるのもいいかもしれません。もしかしたら、今生ではもう伝えられない「ありがとう」もあるかもしれません。そういう時は、お仏壇で、お墓で、阿弥陀様と一緒に「いつも見守ってくれてありがとう」。そして、先だった方と一緒に阿弥陀様に「ともにまた出会えるお救いを届けてくれてありがとうございます」とお念仏申す年の暮れを送っていただければと思います。

### 神奈川組の慶讃法要がこまじりました

十二月十四日エポック中原にて、慶念寺の所属する神奈川組の「親鸞聖人御誕生八百年立教開宗八百五十年慶讃法要」が勤まりました。住職も開会式から協賛行事まで、色々とお役目をさせていただきました。

その中でも、一番大変だったのが協賛行事。お笑い芸人のメンバーさんに来ていただいたのですが、前説と進行を担当いたしました。紹介や、インタビュ

ーをするために色々調べ、お坊さん目線じやなく、ご門徒さん目線での質問を心がけました。厳肅な雰囲気での法要。笑い声のあふれる協賛行事と、素晴らしい法要になりました。その一助となれたことをとても嬉しく思います。



# 今年も本願寺のお煤払いに行ってきました



今年も二十日に本山本願寺のお煤払いに参加してきました。飛び入りでも参加できるこちらの行事。意外と知られていないようです。

十九日に到着し、本願寺参拜。本山の御影堂で帰敬式を受式した後に、国宝「書院」  
「飛雲閣」を拝観。お寺で行くからこそ、ほぼ貸し切り状態で特別拝観です。

そして当日。朝五時三十分からのお晨朝に引き続きお煤払い。みんなで煤竹を持って、一斉に畳を叩きました。舞い上がったほこりが朝日に照らされて、幻想的な雰囲気の中で、お煤払いをいたしました。

その後は、京都市内観光。今年はお親鸞聖人ご往生の地である、本願寺角の坊と、今年九月に十八年ぶり



## 帰敬式のおすすめ (法名)

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。

に公開された、二条城の本丸御殿を観覧してきました。

連綿と続いてきた伝統行事に参加し、京都を楽しめる旅行となりました。

## 発送作業のお手伝いをお願い

来年も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和七年一月二十六日(日)

十四時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々子どもたち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。



## ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。

慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関する質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

## 次回の法話会は

一月十九日(日) 十四時から 慶念寺本堂

にて「定例法話会」を行います。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

## 編集後記



十二月に実家長念寺の報恩講と、神奈川組の慶讃法要が続き、川崎市仏教会の法要など大法要の裏方が続く怒涛の一年間が終わりました。

ものすごく大変でしたが、沢山の経験を積んで、成長をすることができた一年だったように思います。

その中でも、慶讃法要の中でお笑い芸人さんと私でトークした協賛行事はやりたいと思ってもできないような、かけがえのない経験となりました。

そして、今年も行った慶念寺のお煤払い参拝旅行。今回は家族も参加。子ども達も楽しかったようです。

工夫の仕方がわかったため、来年も開催できるかも。本文では書けませんが、豊臣秀吉に由来するお店で食べた夕ご飯もとても美味しかったです。

いよいよ年末です。皆様も体調には気を付けて健康やかに新年をお迎えください。

## 浄土真宗本願寺派 歓喜山 慶念寺

〒214-0012  
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5  
電話：044-819-5482  
FAX：044-819-5538  
Email：mail@kyounenji.com  
ホームページ URL  
https://kyounenji.com/



慶念寺ホームページ QR コード